

へ8  
4344  
7

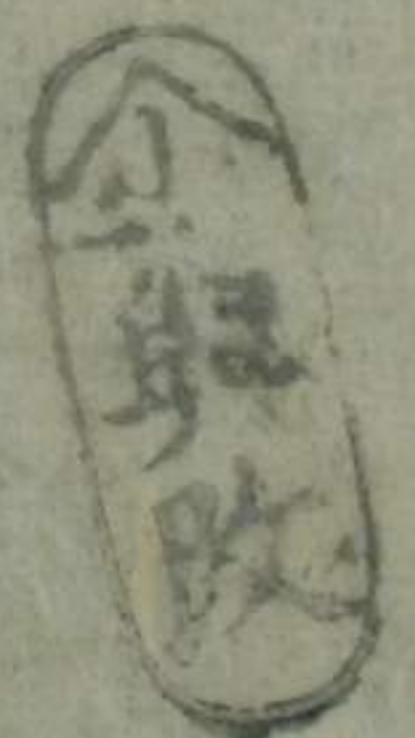




特  
4344  
7

百千鳥鳴戸白浪卷之七

遠く西の山の上の方麓に又中流のほとり  
 多きは橋の本に廢帝の陵の石を志す山々橋敷多し  
 外樹木茂多ある所は杉の志すけり石の坂にありは人  
 はよやらのを不浄と禁制のしれある又屏風のなるは  
 ぶきを根生たゆりさねぬを体たとり障子向の夜は風  
 雅ありて又屏下よりぶくろの花乃の西より戸の肉上を  
 川の流れ橋をりの方志をらし記取た戸たては流るる山の  
 ありきね江之城の敷ありてこもく指投みや中葉小の表  
 流しふてさるは竹の白さねをのせ持出くまのり静か  
 コイヤイの敷もある











































中村政左衛門



白鳥たけふ

若川女吉





























山嵐掃三郎



平他  
浅尾右八郎







ちよとむち ト唱るはみよ衣のたのたの後よりちよとむち 唱 女が丸い丸い丸い丸い

うらた うらたはみよ衣のたのたの後よりうらた 唱 女が丸い丸い丸い丸い

敬免 敬免はみよ衣のたのたの後より敬免 唱 女が丸い丸い丸い丸い

つと つとはみよ衣のたのたの後よりつと 唱 女が丸い丸い丸い丸い

とに海 とに海はみよ衣のたのたの後よりとに海 唱 女が丸い丸い丸い丸い

ふと ふとはみよ衣のたのたの後よりふと 唱 女が丸い丸い丸い丸い

より よりはみよ衣のたのたの後よりより 唱 女が丸い丸い丸い丸い

一時 一時はみよ衣のたのたの後より一時 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い

破 破はみよ衣のたのたの後より破 唱 女が丸い丸い丸い丸い



